

特別会計予算の概要

予算額 3,841億円 (前年度比2.5%増)

土地区画整理会計

予算額 6億円

- 篠路駅東口土地区画整理事業の移転補償費の増等により、前年度比 64.6%の増となります。

駐車場会計

予算額 1億円

- 円山公園第一駐車場修繕費の減等により、前年度比 7.5%の減となります。

母子父子寡婦福祉資金貸付会計

予算額 1億円

- 貸付金、公債償還費の減により、前年度比 56.8%の減となります。

国民健康保険会計

予算額 1,849億円

- 一人当たり医療費の増等により、前年度比 2.0%の増となります。
- 一般会計から、財政基盤の強化を目的とした法定の繰入金148億円など、総額201億円の繰入を受けます。
- 物価高騰対策として基金10億円を活用し、保険料の上昇を抑制します。

後期高齢者医療会計

予算額 310億円

- 被保険者数の増に伴う北海道後期高齢者医療広域連合負担金の増等により、前年度比 1.6%の増となります。
- 一般会計から、財政基盤の強化を目的とした法定の繰入金59億円など、総額74億円の繰入を受けます。

介護保険会計

予算額 1,651億円

- サービス利用者の増加等に伴う保険給付費の増等により、前年度比 3.2%の増となります。
- 一般会計から、保険給付に係る費用の市町村負担分など、総額268億円の繰入を受けます。

基金会計

予算額 22億円

- 基金地買戻利息の増等により前年度比 6.7%の増となります。

企業会計予算の概要

予算額 2,733億円 (前年度比1.7%増)



病院事業会計

予算額 324億円

(前年度比 3.1%増)

安全で質の高い医療の提供

安全で質の高い医療を提供するため、高度医療機器の更新・整備を行います。

また、経年劣化に伴う施設の改修を計画的に進めます。

経営健全化に向けた取組

市立札幌病院としての役割を果たすため、新入院患者の受入強化や、経費の削減に取り組み、将来にわたって持続可能な経営基盤を確立し、より健全かつ効率的な病院経営を目指します。

収益的収入	260億円
収益的支出	259億円
差引	1億円
未処理欠損金	38億円



中央卸売市場事業会計

予算額 45億円

(前年度比 9.9%増)

安全で安心な生鮮食料品の供給

安全で安心な生鮮食料品の安定供給を堅持していくとともに、中央拠点市場としての機能強化のため、老朽化した場内の設備機器類の更新を行います。

健全経営に向けた取組

今後とも、老朽化施設の更新など、経費の増加が見込まれる厳しい経営環境の中で、健全な事業運営を継続するため、計画的・効率的な事業執行により、引き続き、より一層のコスト削減に努めます。

収益的収入	22.6億円
収益的支出	21.0億円
差引	1.6億円
未処理欠損金	46億円



軌道整備事業会計

予算額 34億円

(前年度比 4.0%減)

安全の確保

安全運行の確保のため、計画的な軌道施設の更新を進めます。

快適なお客さまサービスの提供

街路拡幅事業に合わせて、軌道改良工事などを進めます。

まちづくりへの貢献

電力設備の増強や車両基地の改良を進めるとともに、低床車両の製造等を進めます。

経営力の強化

厳しい経営環境を乗り切るため、運送事業者と連携し、必要な財源の確保に努めます。

収益的収入	14.0億円
収益的支出	16.5億円
差引	▲ 2.5億円
未処理欠損金	14億円



高速電車事業会計

予算額 738億円

(前年度比 2.1%減)

安全の確保

老朽化した施設の改修のほか、防災対策として、南北線シェルター耐震改修工事などを進めます。

快適なお客さまサービスの提供

お客さまの利便性向上のため、一般旅客用トイレの洋式化等を行います。

まちづくりへの貢献

施設や車両の案内表示等を多言語表記に改修します。

経営力の強化

厳しい経営環境を乗り切るため、必要な財源の確保や経費節減、経営の効率化に努めます。

収益的収入	491億円
収益的支出	429億円
差引	62億円
未処理欠損金	2,006億円



水道事業会計

予算額 695億円

(前年度比 4.2%増)

安全で安定した水道水の供給

安全で安定した水道水をお届けするため、経年劣化した施設や配水管の更新などを進めます。

また、災害対策として、浄水場などの施設や配水幹線、災害時重要施設へ向かう配水管の耐震化などの事業を進めます。

健全経営の維持に向けた取組

経年劣化した施設等の更新のほか、災害に備えた耐震化事業の推進などにより、今後も建設改良に係る経費は高い水準で推移することが見込まれることから、健全経営の維持に向け、必要な財源の確保に努めながら、施設規模の見直しや延命化などの経費節減に取り組めます。

収益的収入	461億円
収益的支出	368億円
差引	92億円
未処理欠損金	なし



下水道事業会計

予算額 897億円

(前年度比 2.3%増)

安全なくらしと良好な環境の維持

施設の適切な維持管理や老朽化した施設の計画的な改築を進めるとともに、雨水拡充管の整備等の浸水対策や、下水道施設の耐震化等の地震対策を進めます。このほか、下水道工ネルギーの有効利用等に取り組みます。

健全経営の持続に向けた取組

コストの縮減等により財務体質の強化を図るとともに、効果的な人材育成等により運営体制の強化を図ります。

幅広い世代の理解促進に向けた取組

下水道科学館を活用し、下水道を楽しみながら学べる取り組みを行うとともに、下水道に対する関心が高まる効果的な情報発信を行います。

収益的収入	509億円
収益的支出	507億円
差引	2億円
未処理欠損金	なし